



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社  
決算説明会  
(業績概要・経営方針)

第1期中間決算  
(2005年4月1日～2005年9月30日)

2005年11月8日

第一三共株式会社  
代表取締役社長 庄田 隆



Daiichi-Sankyo

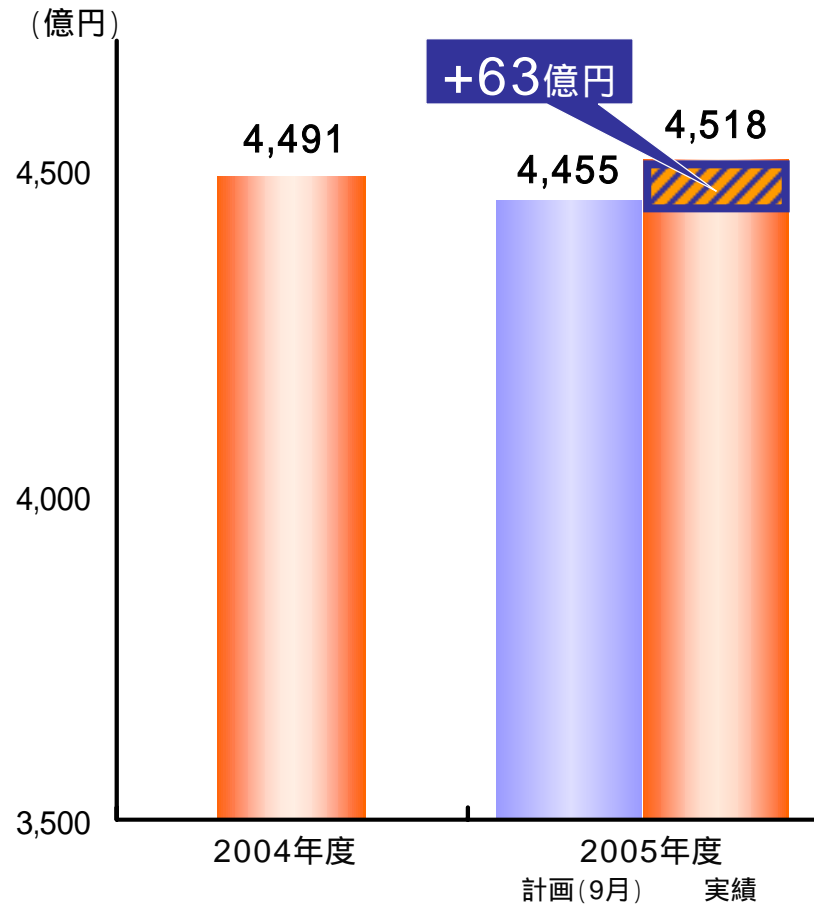
第一三共株式会社

決算概況  
中間実績

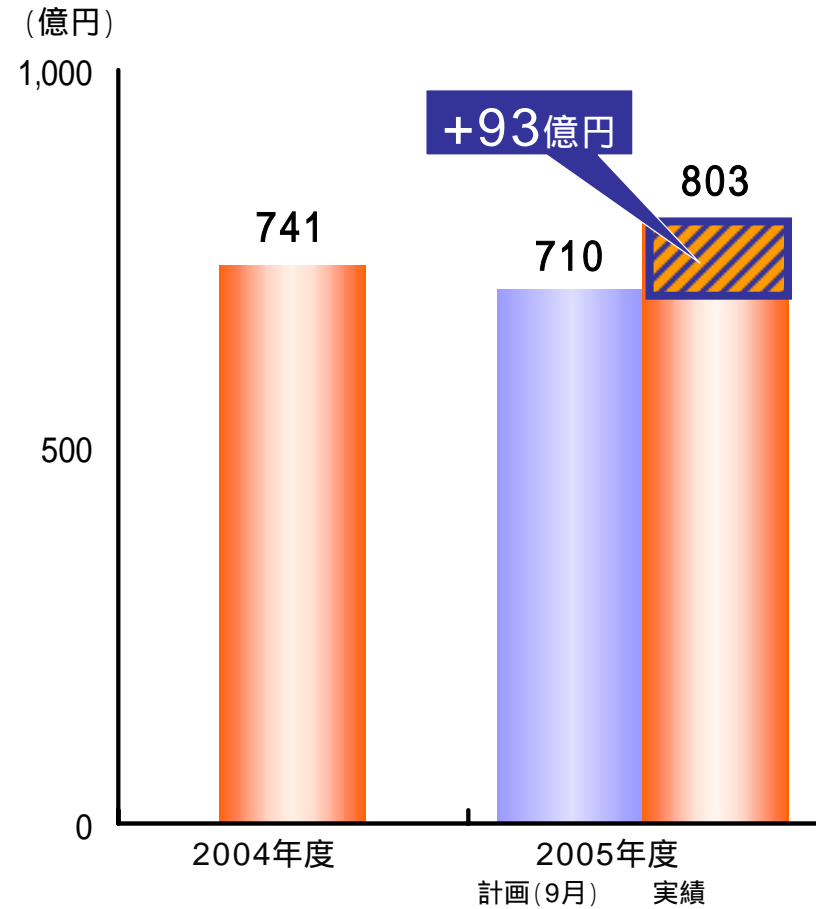
Results  
overview  
First half  
results

# 第一三共 連結中間決算(実績)の概要

## 売上高



## 営業利益

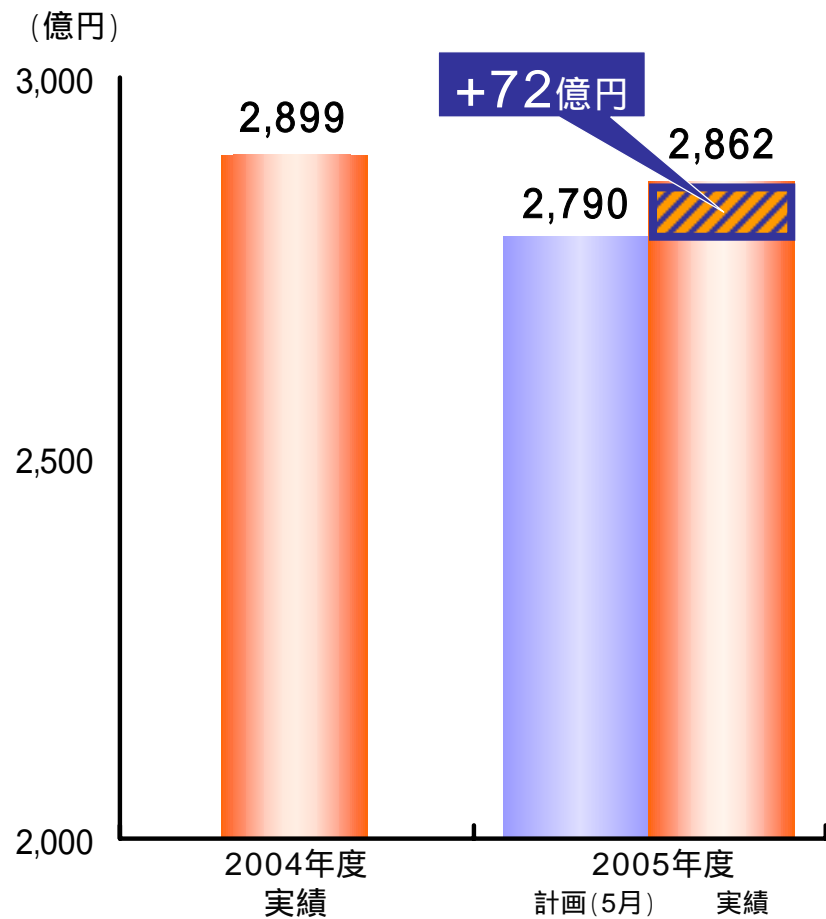


両社の合計を単純に合計

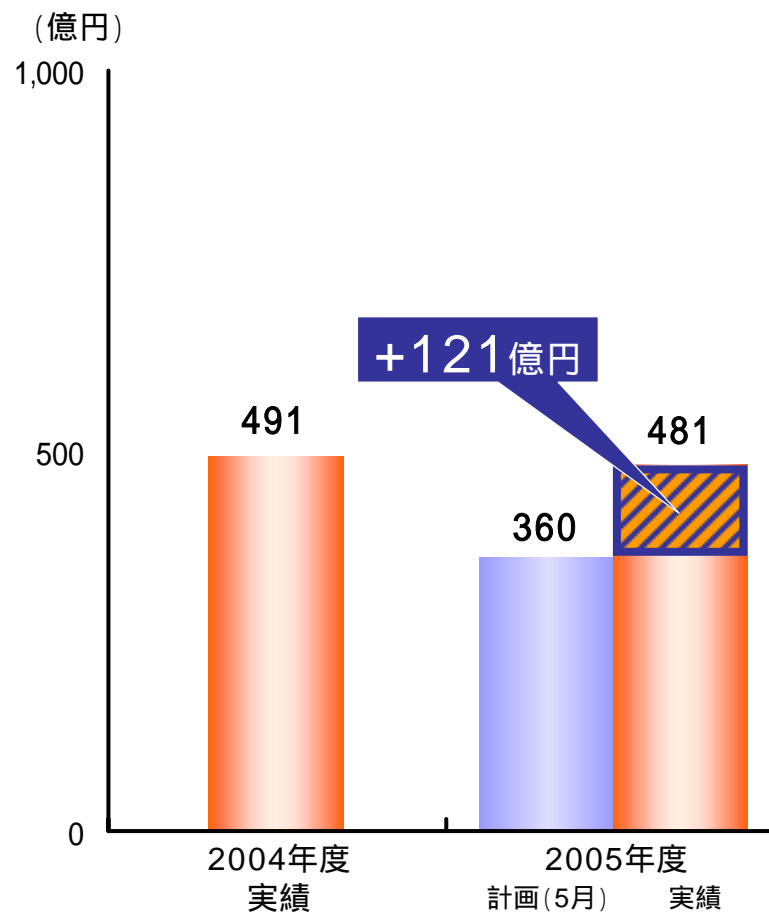


第一三共株式会社

## 売上高



## 営業利益



## 売上高の増加要因

- 国内:「オルメテック」(5月の長期処方解禁以降に伸長)
- 海外:「ベニカー」(米国ARB市場において新規処方箋シェア3位に上昇)  
「ヴェノファー」(数量・シェアの拡大、価格下落対策が奏功)

## 営業利益の増加要因

- 原価削減効果  
原価率改善(当初計画35.1% 中間期実績33.1%、三共品の売上比率拡大)

# 国内主要製品の動向

(2005年度上期、単位:薬価ベース、百万円)

品名	累計金額	対前年伸び率 (%)		シェア (%)	薬効内順位
		4-9月	当本品		
メバロチン	44,353	5.0	5.0	31.9	
ロキソニン	16,152	5.0	1.3	34.0	
オルメテック	10,809	242.8	25.6	5.8	
クレメジン	7,400	4.3	7.5	38.8	
カルブロック	3,307	202.8	5.7	1.9	
ファスティック	3,059	3.0	19.5	40.0	

各品目のシェアはATC分類内シェア。

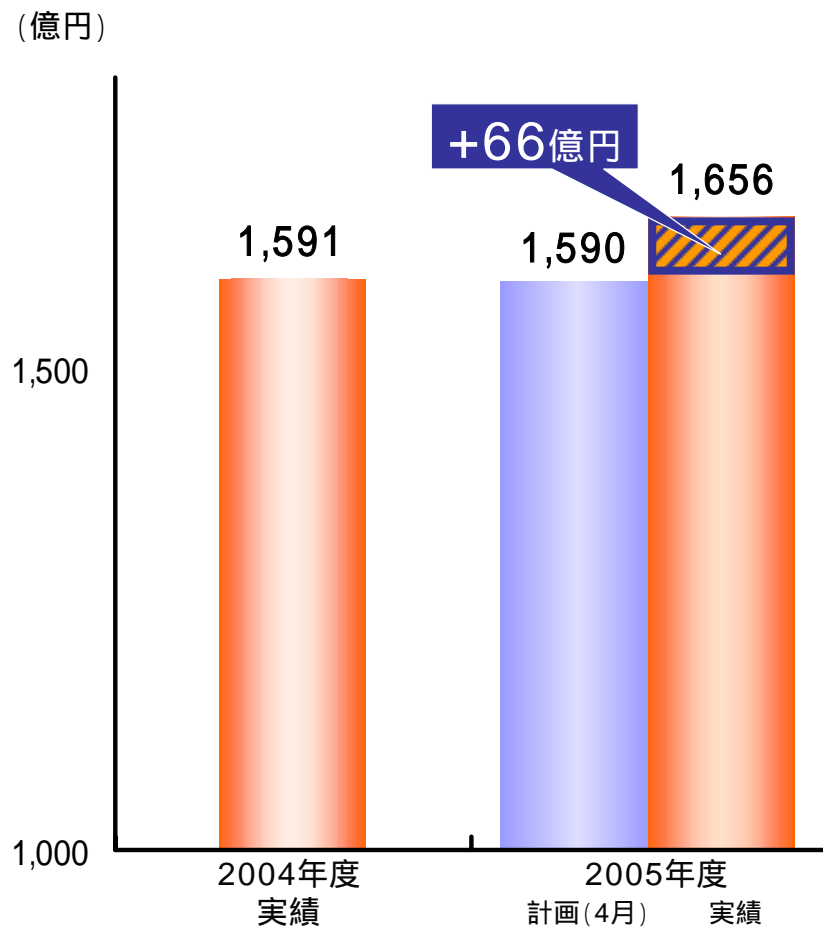
Copyright IMS Japan KK, 2005 出典: IMSジャパン医薬品市場統計  
期間: 2005年4-9月 無断複製禁止



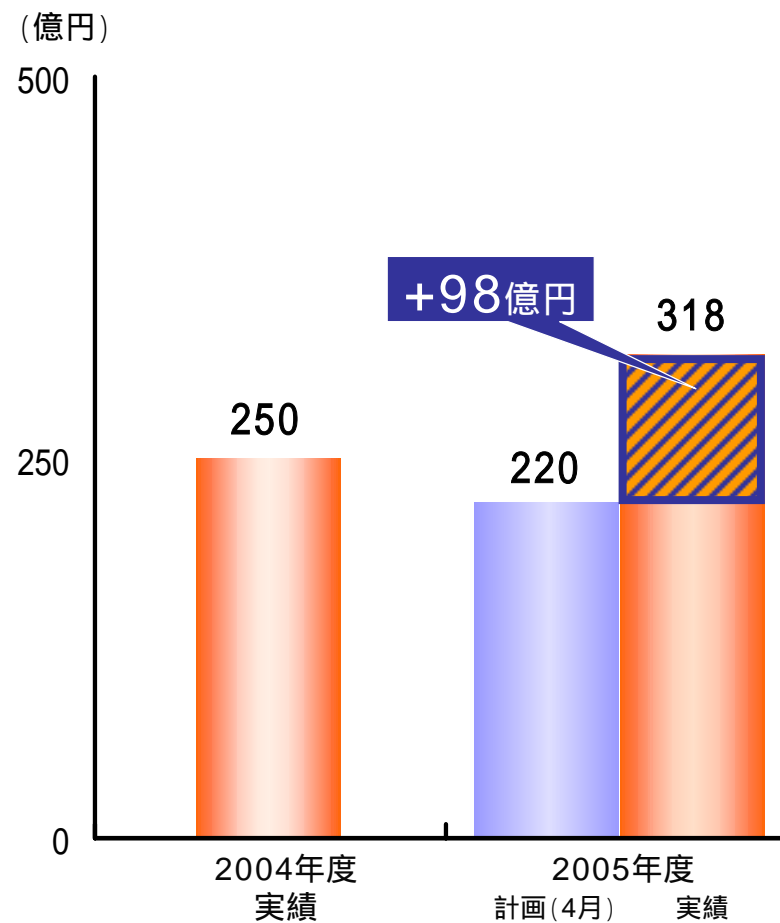
第一製薬の  
中間決算(1)

# 連結中間決算実績の概要

## 売上高



## 営業利益



第一三共株式会社



第一製薬の  
中間決算 (2)

## 連結中間業績差異理由 (対計画)

### 売上高の増加要因

- 国内: 「クラビット」「アーチスト」「ジルテック」「モービック」「ハンプ」「トポテシン」の伸長
- 海外: 「フロキシソール」の伸長
- 輸出: レボフロキサシンバルクの出荷増加

### 営業利益の増加要因

- 高利益品目の売上増加
- 原価削減効果  
第一ファルマテック本格稼動による原価低減実現 (原価率: 当初計画 29.8% 中間期実績 28.1%)







# 国内主要製品の動向

(2005年度上期、単位:薬価ベース、百万円)

品名	累計金額	対前年伸び率(%)		シェア (%)	薬効内 順位
		4-9月	当本品		
クラビット	25,675	11.3	2.1	20.6	
オムニパーク	19,705	0.6	0.8	36.8	
パナルジン	15,888	2.4	8.8	14.1	
アーティスト	9,732	16.9	2.2	24.7	
サンリズム	6,476	6.5	1.7	23.4	
コバシル	4,827	2.4	9.4	11.2	
ハンプ	4,119	27.6	5.7	27.2	

のシェアは当社独自の薬効定義におけるシェア。  
それ以外はATC分類内シェア。

Copyright IMS Japan KK, 2005 出典:IMSジャパン医薬品市場統計  
期間:2005年4-9月 無断複製禁止





Daiichi-Sankyo

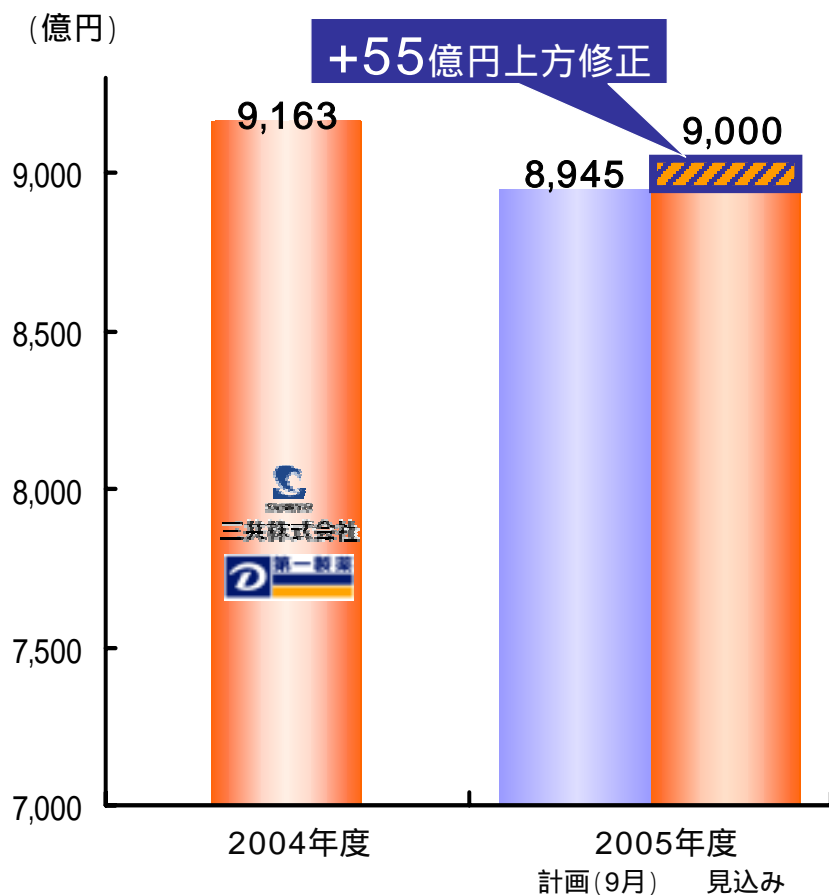
第一三共株式会社

決算概況  
通期見込

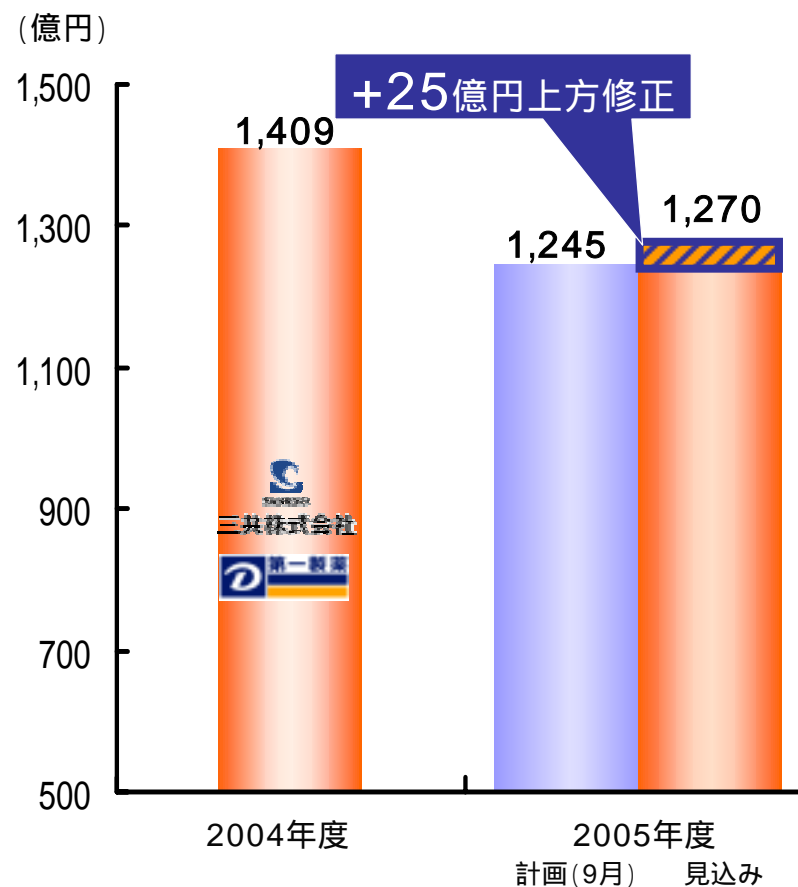
Results  
overview  
FY05 forecast

# 第一三共 連結通期予想数字の概要

## 売上高



## 営業利益



04年度は三共及び第一製薬の各業績数字の単純合計です。

# 第一三共 連結通期予想数字のポイント

オルメテック コラボレーションによる増収増益効果

レボフロキサシンの国内外における堅調な推移

米国SPI・LPIの好調な業績

業務改革・構造改革の効果





Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

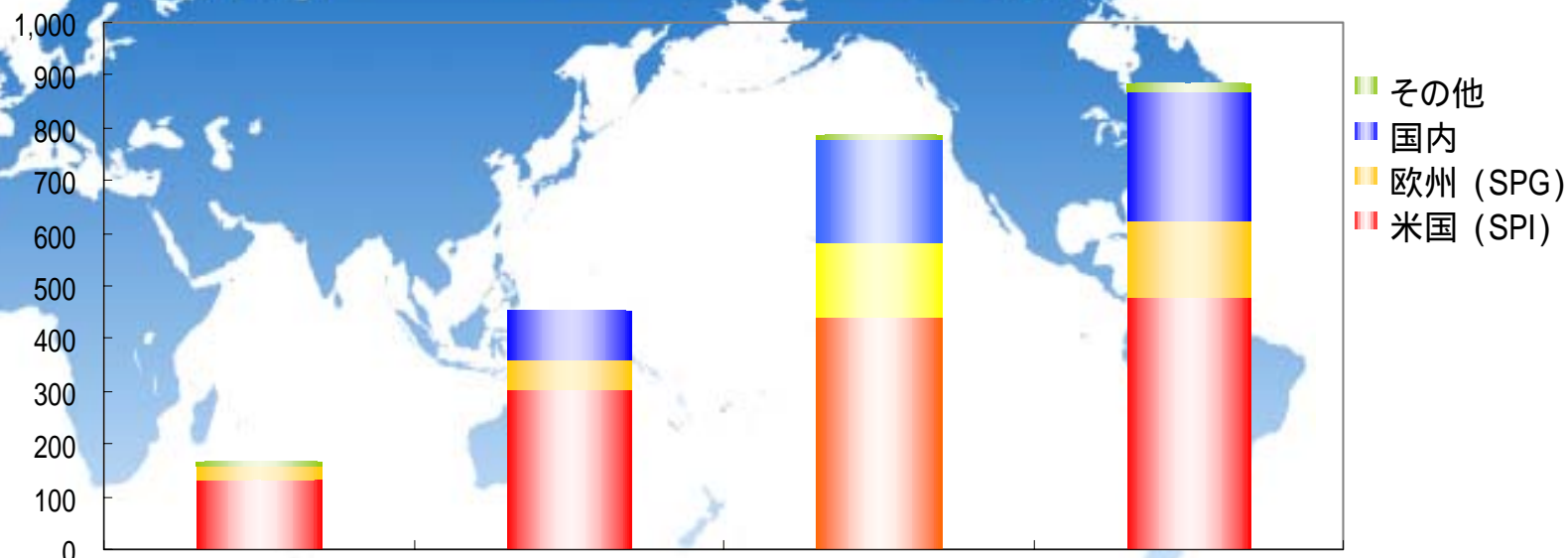
主要製品の動向

Trends in  
major  
products

# オルメサルタン 売上推移 ~ 1,000億円達成目前に

現在32カ国・地域で販売

(億円)

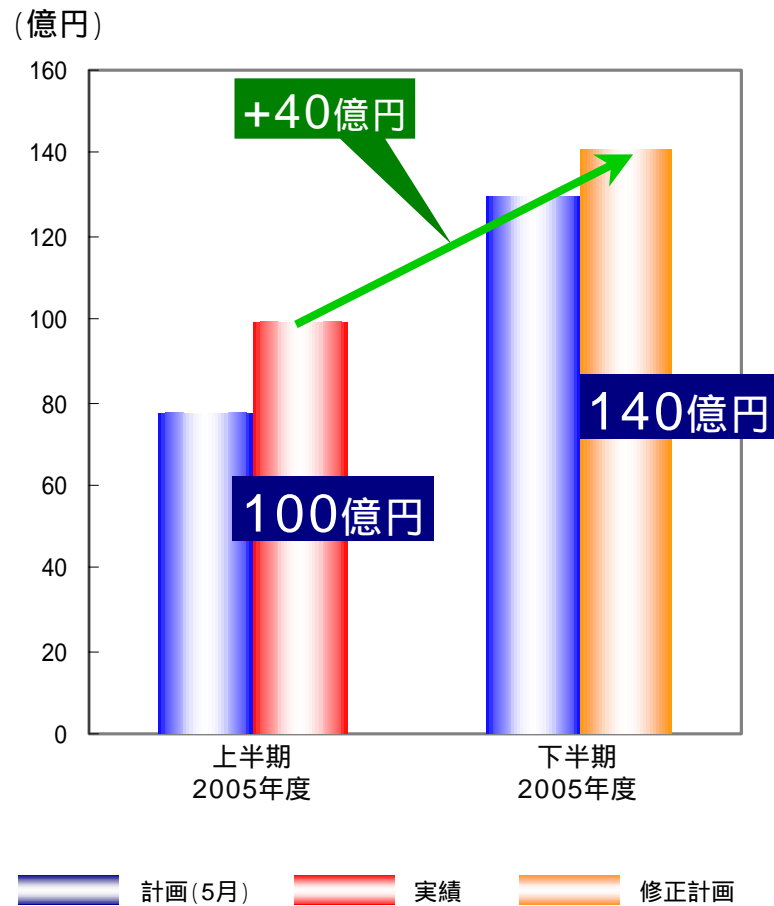


	2003年度	2004年度	2005年度	
			計画(5月)	見込み
計	165	456	788	883
国内	0	90	193	240
米国(SPI)	132	303	439	477
欧州(SPG)	24	58	144	149
その他	9	4	12	17

(億円)

# 国内コラボレーションがスタート

## 国内オルメサルタン売上高



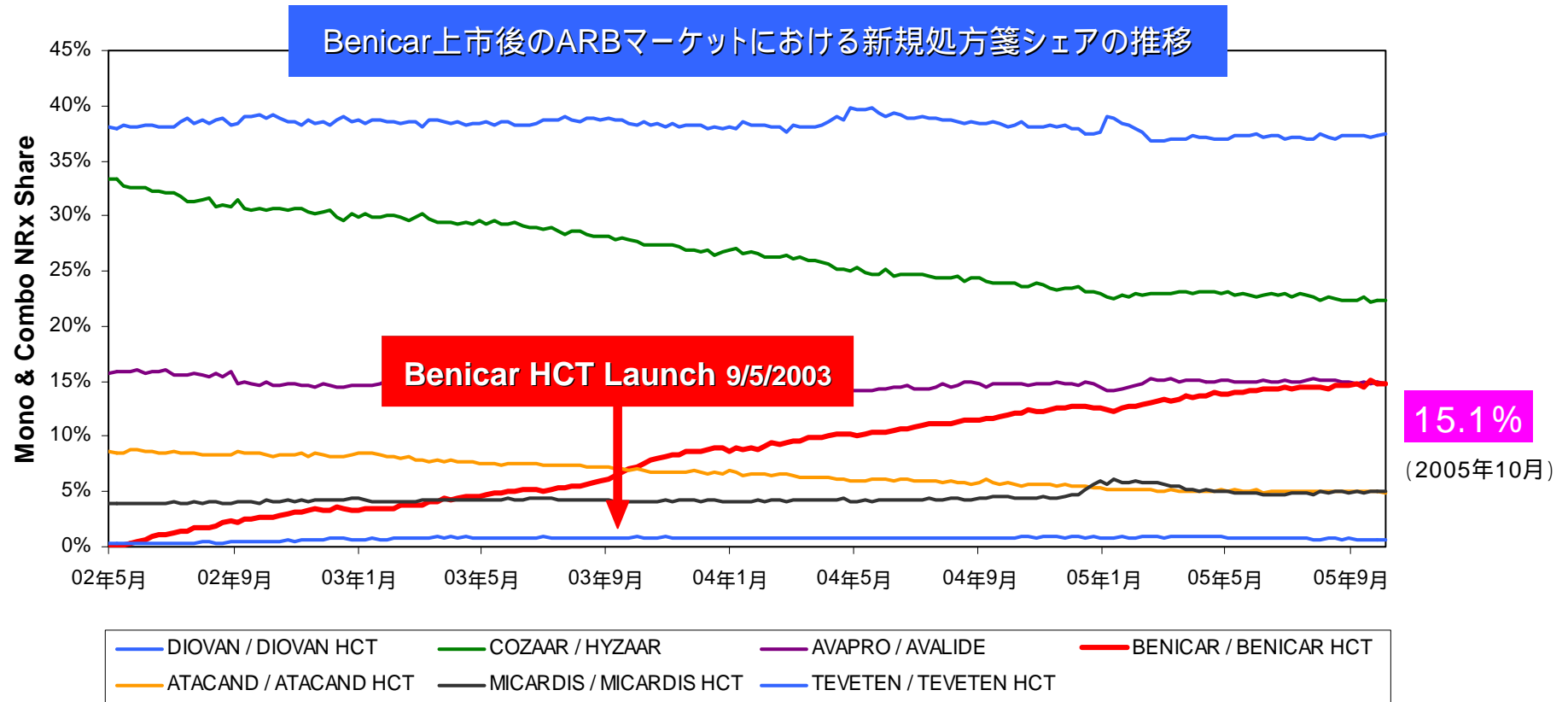
10月より三共 / 第一製薬の  
コラボレーション開始

11月より両社による情報提供を開始



# 米国 ARB市場No.3の薬剤に・・・ ~ Benicar / Benicar HCT

新規処方箋シェア約15%に達し、ベスト3入り。次の目標はNo.2



Copyright 2005 IMS Health or its affiliates  
 出典: IMS Health, IMS National Prescription Audit™, Sept. 2005  
 無断転載・転用禁止



# オルメサルタン グローバル売上2,000億円に向けた更なる取り組み

## 米 国

- 営業組織統合による販売力の強化
- ライフサイクルマネジメント:  
CS-8663の開発に着手(フェーズ入り)

## 欧 州

- オルメテックプラス(利尿剤との配合剤)の早期上市
- ROADMAP試験(微量アルブミン尿発症予防)

## 日 本

- 第一三共2,500名体制による情報提供開始
- ライフサイクルマネジメント:  
CS-866AZ、CS-866CMBを開発中
- ORIENT試験(適応症追加:糖尿病性腎症)

## その他

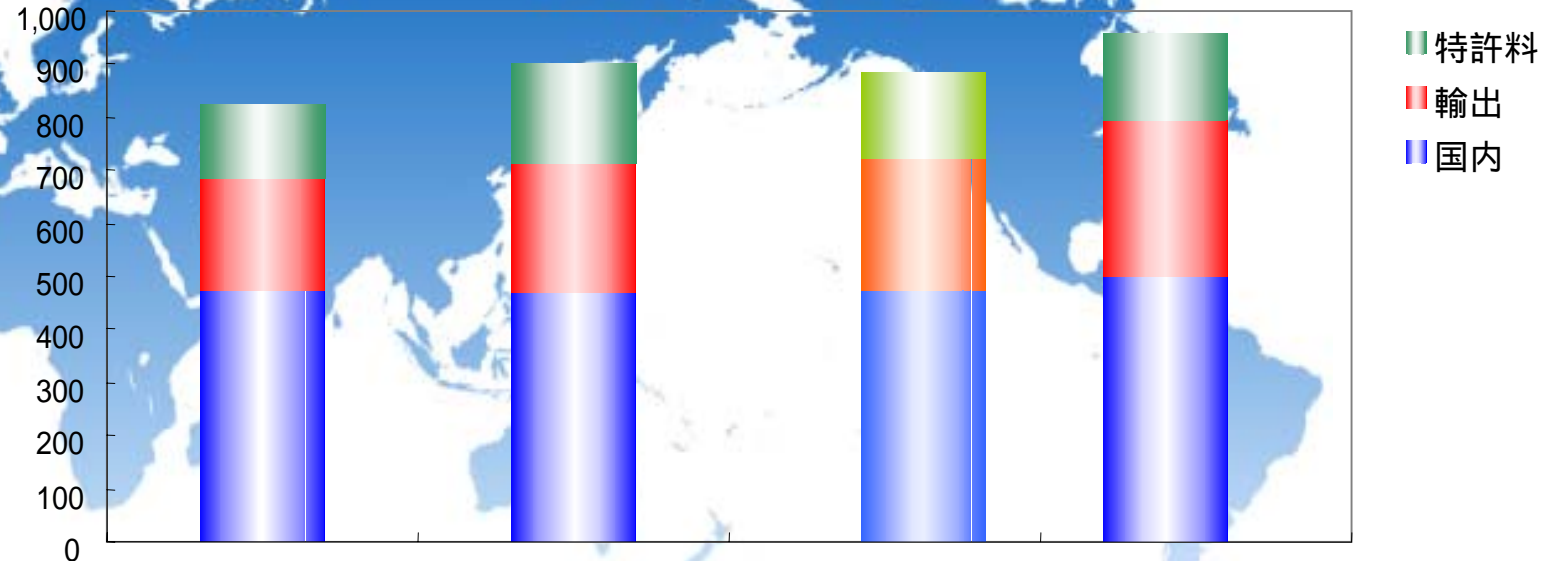
- 提携先の拡大(ファイザー・シエリングプラウ・大熊製薬等)



# レボフロキサシン（クラビット）の売上推移

将来に向けたライフサイクルマネジメントの取組みを強化

(億円)



	2003年度	2004年度	2005年度	
			計画(4月)	見込み
合計	824	903	888	958
特許料	142	190*	160	164
輸出	208	242	250	292
国内	474	471	474	502

(億円)

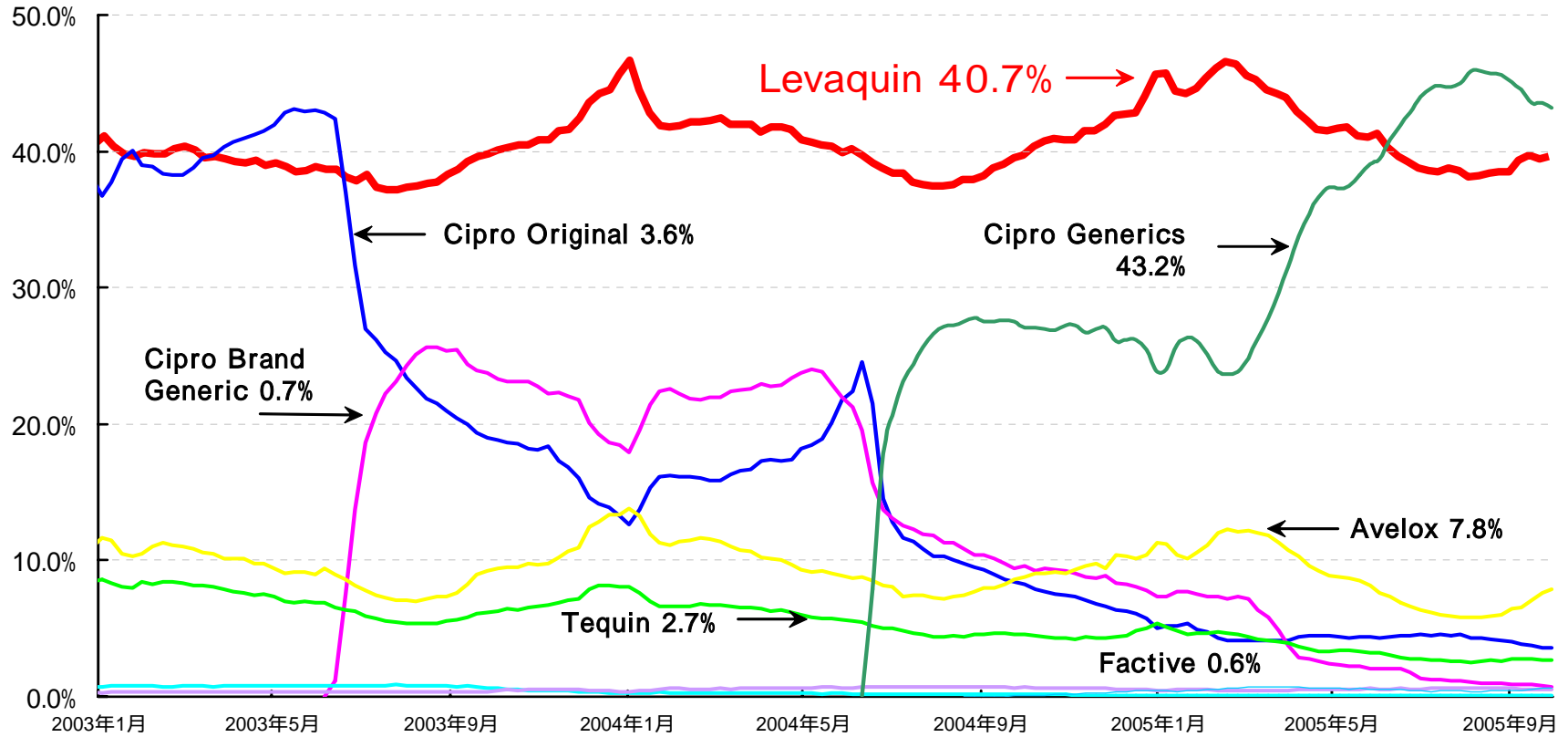
\* 2004年度の米国特許料について一部計算期間を変更しており、15ヶ月分を計上しております。



第一三共株式会社

# オリジナルキノロンとしてのシェアを確立

## 米国抗菌剤市場 シェア動向



LEVAQUIN — CIPRO ORIGINAL — CIPRO Brand Generic — AVELOX — TEQUIN — FLOXIN — Others — Cipro Generics — FACTIVE

Copyright 2005 IMS Health or its affiliates  
 出典: IMS Health, IMS National Prescription Audit™, Sept. 2005  
 無断転載・転用禁止

# レボフロキサシン グローバル売上極大化に向けた取り組み

## 米 国

- 本年8月急性副鼻腔炎効能追加
- 750mg製剤による中等度呼吸器感染症への高用量短期療法普及
- 泌尿器科領域対策の推進

## 欧 州

- 500mg製剤による呼吸器感染症への市場評価の確立  
(ドイツ、フランス、スペイン他  
前同比2桁成長)
- 米国750mgデータの活用による  
高用量短期療法展開の検討

## 日 本

- 有効性と安全性のバランスの訴求  
による呼吸器領域におけるファース  
トチョイス薬剤の地位確立
- 高齢者及びハイリスク患者への  
EBMに基づく適正使用の推進

## その他

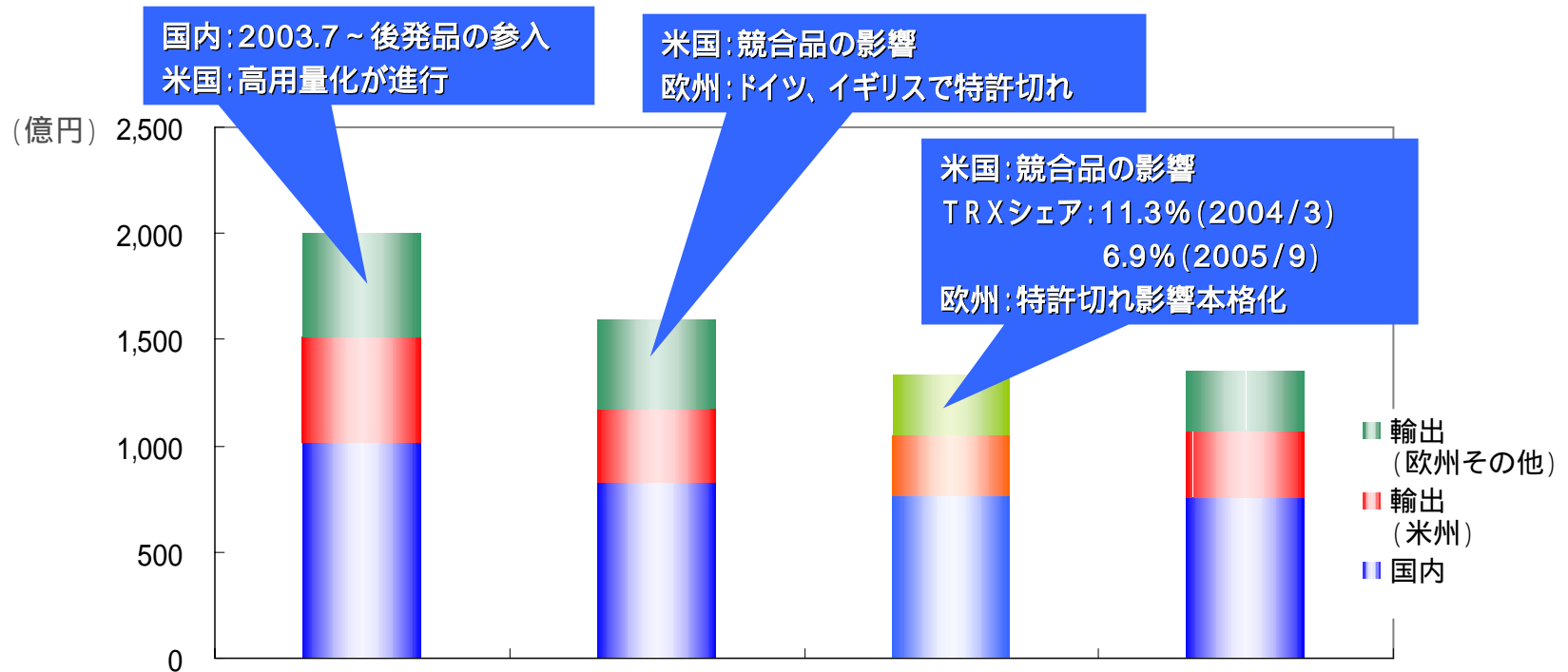
- ライフサイクルマネジメントプロジェ  
クト推進



# プラバスタチン(メバロチン) 売上の推移

2006年度以降: 米国特許切れによるプラバスタチン輸出の減少

MEGAスタディの活用、第一三共の国内営業力により国内売上を維持



	2003年度	2004年度	2005年度	
			計画(5月)	見込み
合計	2,001	1,595	1,336	1,356
輸出	983	770	570	597
国内	1,018	825	766	759

(億円)

欧州その他にはSPG向け等含む

# MEGAスタディの結果をAHAにて発表

発表日：2005年11月16日（日本時間17日）

場 所：米国心臓協会(AHA)学術集会 in ダラス

Late - Breaking Clinical Trialにて発表

試験デザイン：

対象患者： 日本の高脂血症患者(37～74歳) 約8,000例  
(女性比率:68%)

1次評価項目： 致死性または非致死性心筋梗塞、突然死、  
狭心症および冠動脈血行再建術

2次評価項目： 脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、  
すべての心血管イベント、総死亡など

試験期間： 平均5年以上



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

開発品動向

Development  
pipeline  
trends

# 開発品目 第1四半期決算発表以降の進捗

## 承認取得

- ・CS 866CMB オルメサルタンとヒドロクロロチアジドとの配合剤  
(欧州で相互認証取得)

## フェーズ (新規記載)

- ・CS 8663 オルメサルタンとアムロジピンの配合剤(欧米)

## フェーズ 移行

- ・DZ 697b 新規の抗血小板剤

## 中止、中断

- ・CS 505 動脈硬化性心血管疾患治療剤(欧米P / )  
有効性が認められず臨床試験中止
- ・DX 9065a 選択的抗Xa剤(注射剤、日米P )  
資源の集中を図るため中断
- ・CS 003 ニューロキニン受容体アンタゴニスト(欧米P )  
有効性が認められず開発中止





# 開発品目トピックス

## CS 747 (抗血小板剤)

- ・フェーズ 実施中
- ・25か国、800施設。13,000症例。

## DU 176b (経口抗Xa剤)

- ・国際血栓止血学会(2005年8月、シドニー)
- ・一定用量における有効性と安全性を確認  
検証試験(フェーズ b)準備中(至適用量検討など)

## DJ 927 (タキサン系の経口癌化学療法剤)

- ・大腸癌、乳癌、胃癌で有効性確認  
検証試験(フェーズ b)準備中





Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

経営統合への  
取組み状況

Progress with  
management  
challenges

# 統合により何をを目指すのか

統合前

第一製薬



三 共



現状

パイプライン一元化  
オルメテックコラボレーション  
海外拠点の統合  
ヘルスケア事業統合

Step1

2007年の  
あるべき姿を  
検討する  
( 計画・設計)

Step2

現状から移るために  
どうすべきかを  
検討する  
( 移行準備・移行)

事業統合完了段階(2007年4月)



Global Pharma  
Innovator

# 「日本発のGlobal Pharma Innovator」

- 革新的医療用医薬品の創出
- 重点領域でNo.1のプレゼンスを持つ、高収益型企業
- 高い収益性と成長ポテンシャルによる、企業価値の飛躍的向上

## 日本発の

- 製薬産業を21世紀の日本の基幹産業にする

## Global

- 世界各極で自社同時開発、自社販売

## Pharma

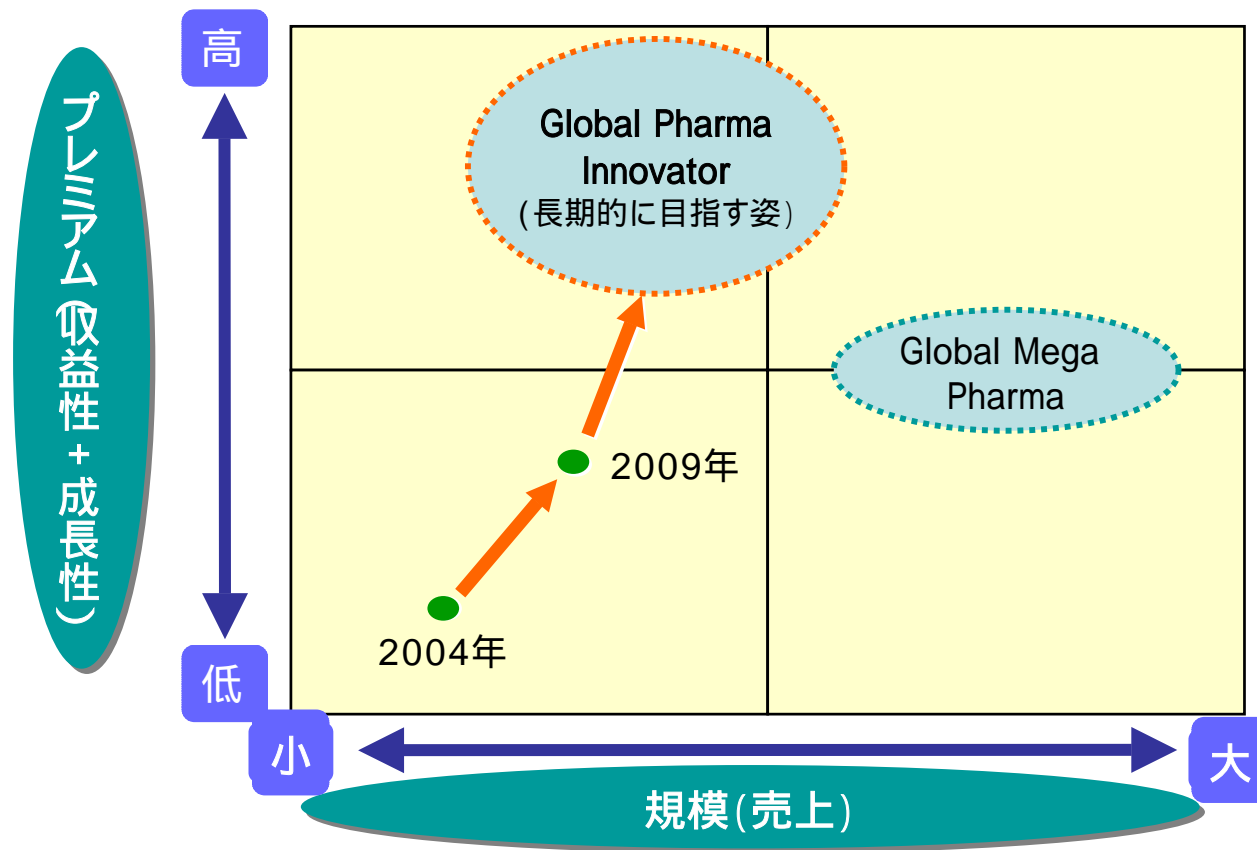
- 革新的医療用医薬品創出への経営資源集中

## Innovator

- 世界最高水準のR&D生産性



# Global Pharma Innovatorを目指してゆく



- パイプライン・技術獲得のために経営資源を積極投入



# 統合の取り組み状況

## 海外拠点統合

- 米国
  - 2006年4月に、両社の営業・開発拠点 (SPI・DPC・DMR) を統合予定
    - 営業拠点 : Parsippany, NJ
    - 開発拠点 : Edison, NJ
- 欧州
  - 2006年4月に統合予定
    - 開発拠点 : ロンドン
    - 営業拠点 : ミュンヘン

イギリス、スペイン、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス、オランダ、ベルギー、フィンランド、フランス



# 現在の取り組み状況

## ヘルスケア事業

- 2006年4月事業統合予定

## 非医薬品事業の自立

- 2007年3月末までに完了予定  
(例) 富士製粉(株)  
日東製粉(株)と合併(2006年4月)により非連結化



# 開発品目一覧表

2005年11月現在

	開発候補	Phase 1	Phase 2	Phase 3	申請	
循環器	CS-3030	DZ-697b CS-866AZ (#)	DU-176b CS-866RN(#) 〔SUN 4936h〕	CS-747 HGF CS-8663 CS-866DM (#)	CS-866CMB (Europe)	11
糖代謝		SUN E7001 (#)	CS-011 CS-917	WelChol DB Fidarestat		5
感染症	CS-3955 DC-159a	DX-619 CS-758 CS-8958	〔CS-023〕	DU-6859a 〔SUN A0026〕	DF-098 (#)	9
がん	CS-1008 CS-7017		DJ-927		CPT-11 (#)	4
免疫・アレルギー	CS-0777	DW-908e	CS-712 (#)	Xolair (#)		4
骨・関節	OCIF		CS-706 〔SUN E3001 (#)〕	CS-600G (#)	LX-A (#)	5
その他	CS-011 (#) (ドライ アイ)	SUN N8075 SUN11031	SUN N4057 CS-088	SUN Y7017 (#) CS-801(#) CS-1401E (#) 〔SUN0588r〕	DD-723 (#) KMD-3213 DL-8234 (#)	12
計	8	9	12	14	7	50

・#: 日本のみ開発  
・(): 導出

・グローバルに開発している課題に関しては、最も進んでいるステージに記載  
・現在、プロジェクトの優先順位を検討中



第一三共株式会社



# パイプライン一元化

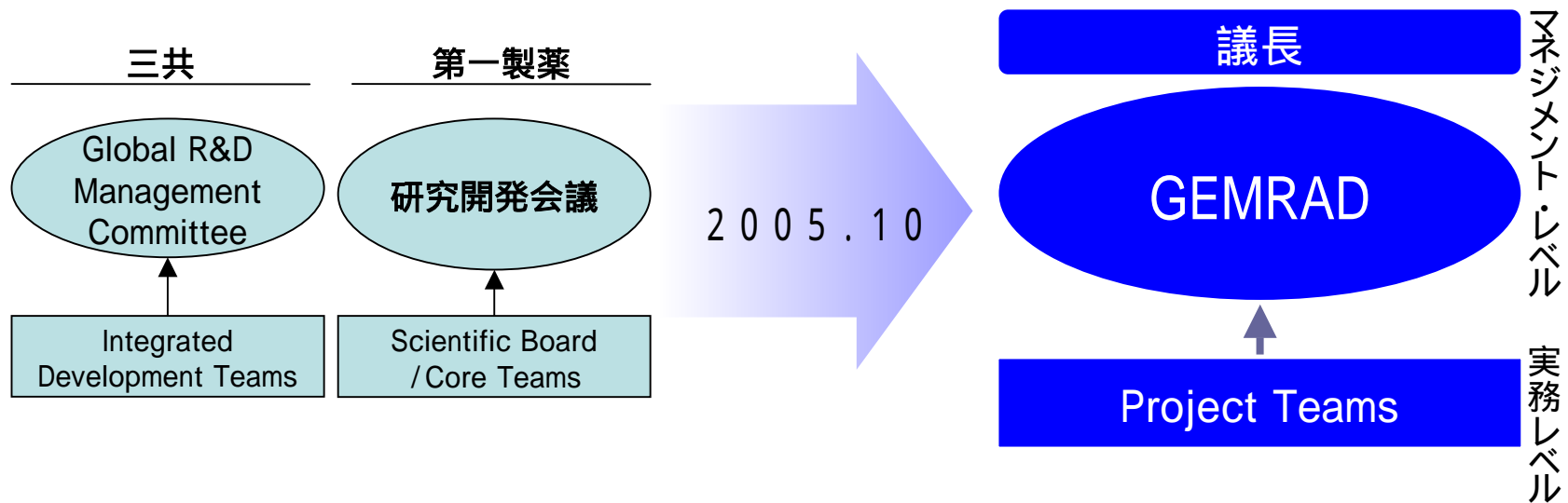
## GEMRAD (新R & D意思決定会議体)

Global Executive Meeting of Research And Development

グローバルおよびローカル開発プロジェクトに関する意思決定

- ・開発プロジェクトレビューと優先度決定
- ・Go / No-go意思決定

R & D戦略の決定



第一三共株式会社

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126

FAX: 03-6225-1132

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

